

# I 病院の概要



# 1 沿革

## 精神医療センターの沿革

※印は他の県立病院の動向

※昭和32年 県立保養所が改称して県立療養所となる

昭和33年 12月 高崎市寺尾町2412に県立高崎療養所として開設  
(病床数93床)

昭和34年 4月 病床137床増床 (病床数230床)

昭和35年 3月 病床35床増床 (病床数265床)

※昭和37年 県立療養所が改称して県立前橋病院となる

昭和40年 4月 県立高崎病院と改称

※昭和40年 県立東毛療養所が改称して県立東毛病院となる

昭和41年 4月 現所在地 (今の伊勢崎市国定町) 用地買取

昭和43年 9月 現所在地 建設着手

昭和45年 3月 現所在地 完成

5月 現所在地 移転

6月 県立佐波病院として発足 (病床数282床)

※昭和47年 県立東毛病院が改称してがんセンター東毛病院となる

昭和49年 10月 体育館完成

昭和55年 3月 東病棟完成

4月 東病棟増設使用許可により、病床数372床となる

※昭和57年 県立小児医療センター開設

昭和58年 6月 診療報酬請求業務 (医事課) の電算化開始

昭和61年 2月 西病棟増改築及び東病棟仮眠室完成

平成元年 4月 応急入院指定病院の指定を受ける

平成3年 1月 老人性痴呆疾患センターの指定を受ける

2月 夜間・休日精神科救急医療開始

平成4年 9月 全面改築着手

日本における精神医療・福祉の主な出来事

### 昭和25年 精神衛生法公布

- ・都道府県に精神病院設置義務
- ・私宅監置の廃止
- ・措置入院制度法制化
- ・以後、全国的に精神病院が増加

※精神科病床数

昭和30年：4万床→昭和49年：26万床

(6.5倍の増加)

### 昭和39年 ライシャワー駐日大使事件

- ・精神病院入院歴のある青年による傷害事件
- ・精神障害者の他害事件に対する社会的不安の高まり

### 昭和40年 第12次精神衛生法の改正

- ・地域社会精神医療の推進を主眼
- ・緊急措置入院制度の新設
- ・通院公費負担制度の新設

### 昭和59年 宇都宮病院事件発生

- ・看護職員の暴行により入院患者2名が死亡
- ・国際的な反響を呼び、法改正の動きが活発化

### 昭和62年 精神保健法成立

- ・国民の精神的健康の保持増進を主眼
- ・任意入院制度の新設
- ・応急入院制度の新設
- ・精神障害者の社会復帰の一層の促進

平成5年 10月 第1期工事竣工（病棟・サービス棟）  
 11月 病棟移転

平成6年 2月 第2期工事着工  
 11月 東館（旧東病棟）改修工事終了

※平成6年 県立前橋病院が改称して県立循環器病センターとなる

平成7年 2月 第2期工事竣工（管理診療棟）  
 4月 新病院への移転完了、診療開始  
 11月 車庫棟完成

平成8年 3月 屋外渡り廊下・トイレ完成

平成9年 4月 県立精神医療センターに名称変更  
 9月 第3期工事着工（グラウンド等外構工事）

※平成10年 県立がんセンター東毛病院が改称して県立がんセンターとなる

平成11年 3月 第3期工事竣工（グラウンド等外構工事）

平成12年 12月 精神科救急情報センターの試行設置  
 （平成16年1月19日より「こころの健康センター内に設置）

※平成13年 県立循環器病センターが改称して県立心臓血管センターとなる

平成14年 3月 病棟再編、急性期病棟の整備完了  
 4月 無痙攣電気療法の開始

平成15年 8月 精神科救急入院料（スーパー救急）の取得

平成16年 10月 院外処方箋発行の本格実施

平成17年 4月 病棟再編・専門病床化のため病床数を372床から265床に変更  
 7月 心神喪失者等医療観察法による「指定通院医療機関」の指定を受ける  
 7月 心神喪失者等医療観察法による「鑑定入院医療機関」となる

平成19年 3月 労災保険指定医療機関の指定を受ける

平成21年 2月 医療観察法病棟（小規格病棟）の整備開始  
 6月 医療観察法病棟（小規格病棟）運営開始  
 9月 精神科救急入院病棟（スーパー救急）の拡大

平成22年 7月 医療観察法病棟（小規模病棟）の整備開始  
 8月 落雷により中央監視室内各種システム罹災

平成23年 3月 医療観察法病棟新設工事着工  
 3～6月 東日本大震災の被災地へ心のケアチームとして職員派遣  
 9月 クロザピン療法の開始

平成24年 2月 医療観察法病棟完成・開棟式実施  
 3月 医療観察法病棟開棟  
 3月 運用病床224床による病棟再編実施  
 12月 体育館耐震補強工事完了 利用再開

### 平成5年 精神保健法の改正

- ・精神障害者の人権に配慮した医療及び保護の推進
- ・グループホームの法定化
- ・医療と福祉の二本の柱からなる法体系

### 平成7年 精神保健福祉法の成立

- ・精神障害者の社会復帰等のための保健福祉施策の充実
- ・より良い精神医療の確保

### 平成11年 精神保健福祉法の一部改正

- ・精神障害者の人権に配慮した医療の確保
- ・精神医療審査会の機能強化

### 平成15年 心神喪失者等医療観察法の成立

- ・触法精神障害者に継続的、適切な医療の提供

### 平成17年 障害者自立支援法の成立

平成23年3月11日 東日本大震災発生

平成25年 7月 落雷により中央監視室内各種システム罹災  
 平成26年 2月 大雪により通勤困難となり緊急動員態勢発令  
 3月 武井満院長退職  
 4月 赤田卓志朗院長就任  
 12月 パッケージ型エアコン更新

平成27年 3月 電子カルテシステム運用開始  
 中央制御型エアコンの更新に着手

平成28年 1月 屋上防水改修工事に着手  
 4月～5月 熊本地震の被災地へ災害派遣精神医療チーム  
 (DPAT)として職員派遣  
 10月 パートナーシップナーシング開始

平成30年 3月 ナースコール更新  
 5月 群馬DPATの派遣協定を県と締結  
 9月 北海道胆振東部地震の被災地へDPAT先遣隊と  
 して職員派遣（現地での活動はなし）

令和元年 7月 健康増進法の一部改正により敷地内全面禁煙化  
 9月 台風15号による大規模停電被害対応のため  
 千葉県にDPAT先遣隊を派遣

令和2年 2月 新型コロナウイルス感染症宿泊施設滞在者対応  
 のためDPAT先遣隊を派遣  
 4月 新型コロナ疑い患者の受入れ開始

令和3年 2月 新型コロナ対応病床増床（3床→5床）  
 3月 新型コロナワクチン医療従事者優先接種を開始  
 5月 常温拡散増幅法（Near法）検査機器導入

令和4年 7月 運用病床178床による病棟再編実施  
 (B病棟を一時閉鎖)  
 10月 精神科救急治療病棟増床のため、運用病床190  
 床による病棟再編実施（F病棟を閉鎖、B病  
 棟へF病棟の機能を引継ぎ開棟、G病棟9床増  
 床（47床））  
 同月 新型コロナ対応病床増床（5床→6床）

令和6年 1月 能登半島地震被災者支援のためDPAT先遣隊を  
 派遣  
 4月 群馬県災害拠点精神科病院の指定

### 平成26年 精神保健福祉法の一部改正

- ・精神障害者の医療の提供を確保するための指針の策定
- ・保護者に関する規定の削除
- ・医療保護入院の見直し

平成26年 長期入院精神障害者の地域移行に向けた具体的方策に係る検討会取りまとめ

新型コロナウイルス感染症 令和2年1月15日  
 国内1例目確認、3月7日 県内1例目確認

### 令和4年改正 令和5年・令和6年施行 精神保健福祉法の一部改正

- ・精神保健に関する相談支援体制の整備
- ・医療保護入院の見直し
- ・入院者訪問支援事業の創設
- ・虐待防止に向けた取り組みの一層の推進

など

## 2 施設の概要 (令和6年4月1日現在)

- (1) 名称 群馬県立精神医療センター  
 (2) 所在地 群馬県伊勢崎市国定町二丁目2374  
 (3) 診療科目 精神科、神経科、歯科、内科  
 (4) 病床数 265床 (運用病床190床)  
 (5) 指定病院等  
 ○保険医療機関 ○指定自立支援医療機関 (精神通院医療)  
 ○労災指定病院 ○生活保護法に基づく指定医療機関  
 ○感染症法に基づく結核指定医療機関 ○特例措置を採ることができる応急入院指定病院  
 ○難病法に基づく指定医療機関 ○児童福祉法に基づく指定医療機関  
 ○被爆者一般疾病医療機関 ○心神喪失者等医療観察法指定入院医療機関  
 ○心神喪失者等医療観察法指定通院医療機関 ○心神喪失者等医療観察法鑑定入院医療機関

### (6) 施設基準等

#### [診療報酬関係]

- 精神病棟入院基本料15対1 (A・B病棟) ○救急医療管理加算  
 ○看護配置加算 (A・B病棟) ○医師事務作業補助体制加算  
 ○看護補助加算1 (A・B病棟) ○精神病棟入院時医学管理加算 (A・B病棟)  
 ○医療保護入院等診療料 ○医療安全対策加算1  
 ○精神科応急入院施設管理加算 (医療安全対策地域連携加算1)  
 ○診療録管理体制加算2 ○精神科救急急性期医療入院料 (E・G病棟)  
 ○患者サポート体制充実加算 (精神科救急医療体制加算2)  
 ○検体検査管理加算 (I) (看護職員夜間配置加算)  
 ○精神科デイ・ケア「大規模」「小規模」 ○精神科ショート・ケア「大規模」「小規模」  
 ○後発医薬品使用体制加算1 ○感染対策向上加算2 (連携強化加算)  
 ○精神科作業療法 ○薬剤管理指導料  
 ○CT撮影 (マルチスライスCT) ○遠隔画像診断  
 ○精神科急性期医師配置加算 (E・G病棟) ○治療抵抗性統合失調症治療指導管理料  
 ○精神科救急搬送患者地域連携紹介加算 ○入院時食事療養費 (I)  
 ○精神科地域移行実施加算 (A・B病棟) ○療養生活継続支援加算  
 ○精神科退院時共同指導料 ○データ提出加算1及び3  
 ○クラウン・ブリッジ維持管理料 (歯科) ○CAD/CAM冠及びCAD/CAMインレー
- [心身喪失者等医療観察法関係]  
 ○入院対象者入院医学管理料 ○通院対象者通院医学管理料  
 ○通院対象者社会復帰連携体制強化加算 ○医療観察精神科作業療法  
 ○医療観察精神科デイ・ケア「大規模なもの」 ○医療観察精神科ショート・ケア「大規模なもの」  
 ○医療観察精神科デイ・ケア「小規模なもの」 ○医療観察精神科ショート・ケア「小規模なもの」  
 ○医療観察治療抵抗性統合失調症治療指導管理料

### (7) 土地・建物

- 土地 敷地面積：76,501.43㎡  
 ○建物 棟数：14棟 建築面積：13,706.11㎡ 総面積：21,594.35㎡

#### ■建物の内訳

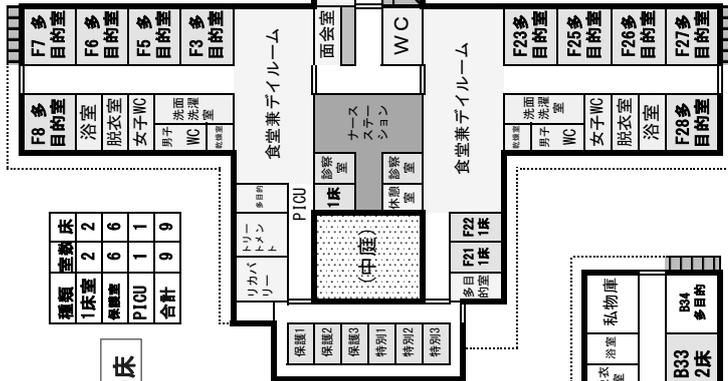
名称	棟数	総面積(㎡)	備 考		
本館	1	4,237.09	1階：2,210.24	2階：1,806.21	塔屋階：220.64
北館	1	6,051.16	1階：3,085.60	2階：2,545.32	塔屋階：420.24
西館	1	5,544.00	1階：2,629.03	2階：2,520.73	塔屋階：394.24
渡り廊下1	1	327.68	北館一本館一西館		
医療観察法病棟	1	1,997.70			
渡り廊下2	1	203.61	北館一医療観察法病棟		
東館	1	1,885.12	1階：916.54	2階：848.12	塔屋階：120.46
体育館	1	772.00			
農機具庫	1	148.50			
プロパン庫	1	22.12			
公用車庫	1	214.50			
屋外トイレ	1	43.38			
ゴミ置場	1	58.39			
ビーブルハウス	1	89.10			
	14	21,594.35			



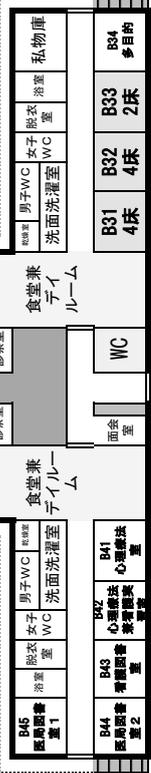
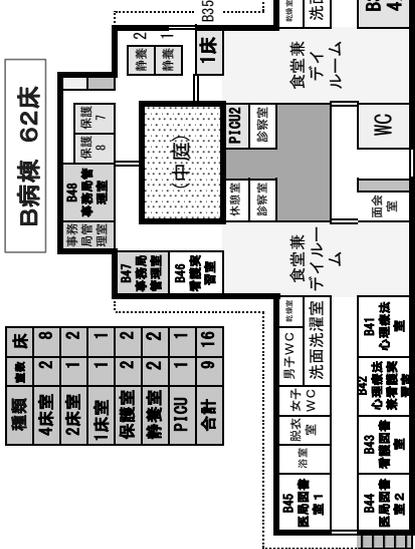
# 2階

## G病棟(サブ)9床

種類	床数
1床室	2
保護室	6
PICU	1
合計	9

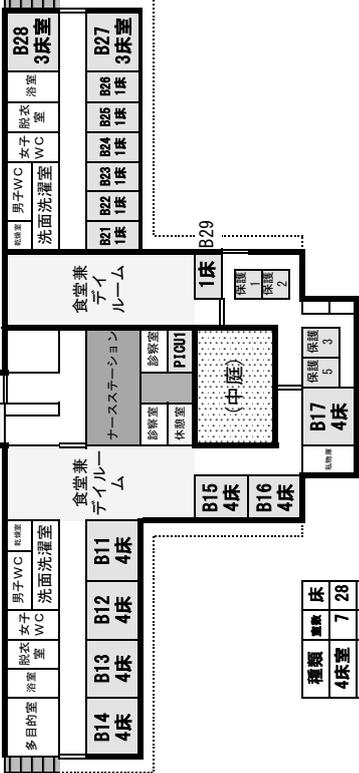
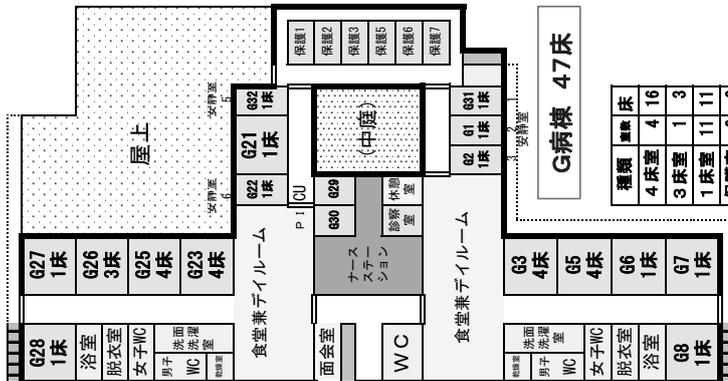


種類	床数
4床室	2
2床室	1
1床室	1
保護室	2
特養室	2
PICU	1
合計	9

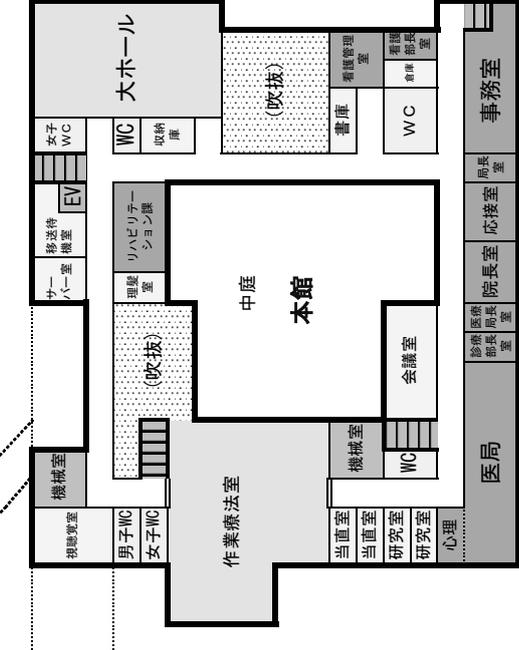


種類	床数
4床室	4
3床室	1
1床室	11
保護室	6
PICU	2
合計	24

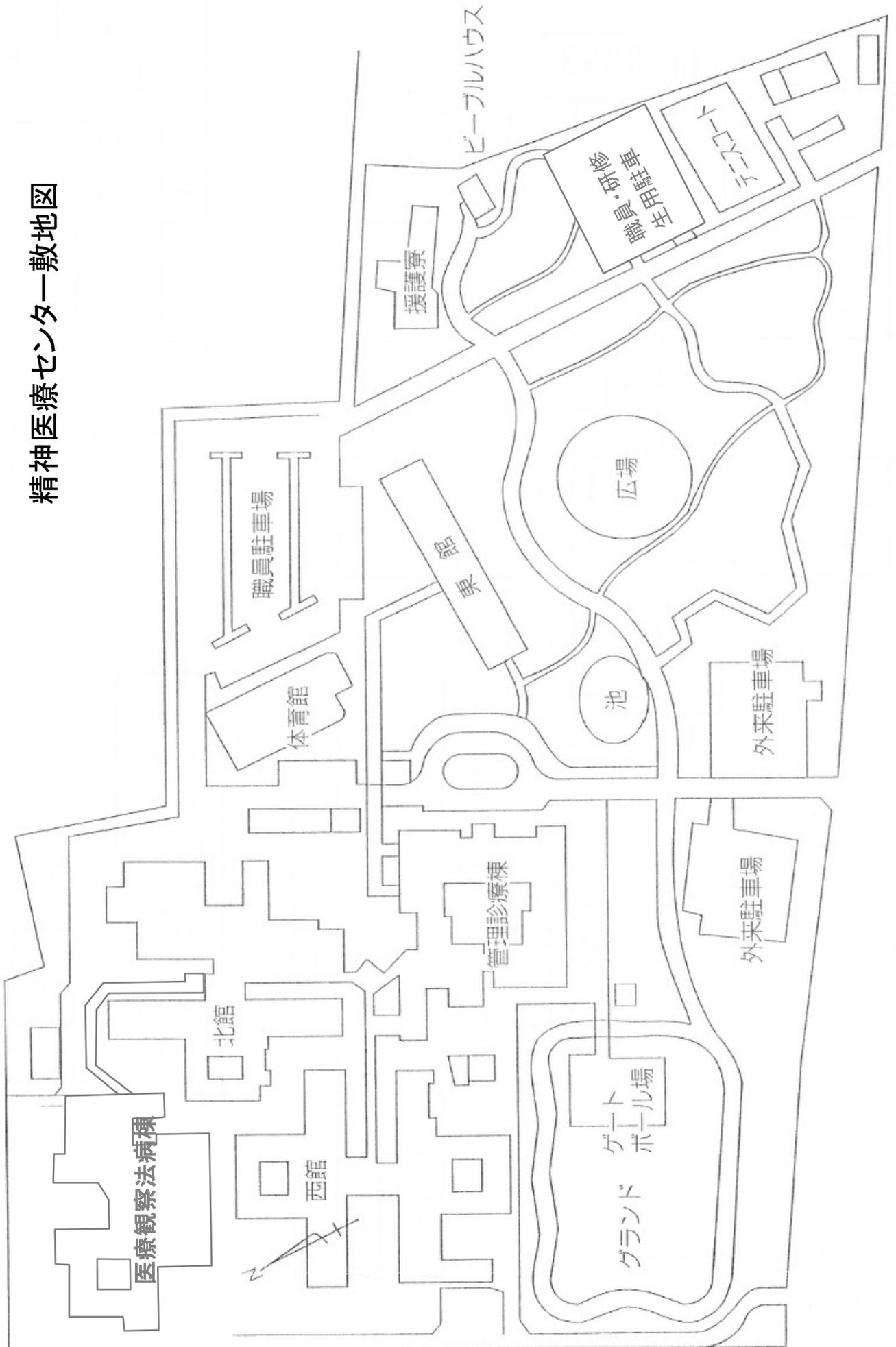
## G病棟 47床



種類	床数
4床室	7
3床室	2
1床室	7
保護室	4
PICU	1
合計	21



精神医療センター敷地図



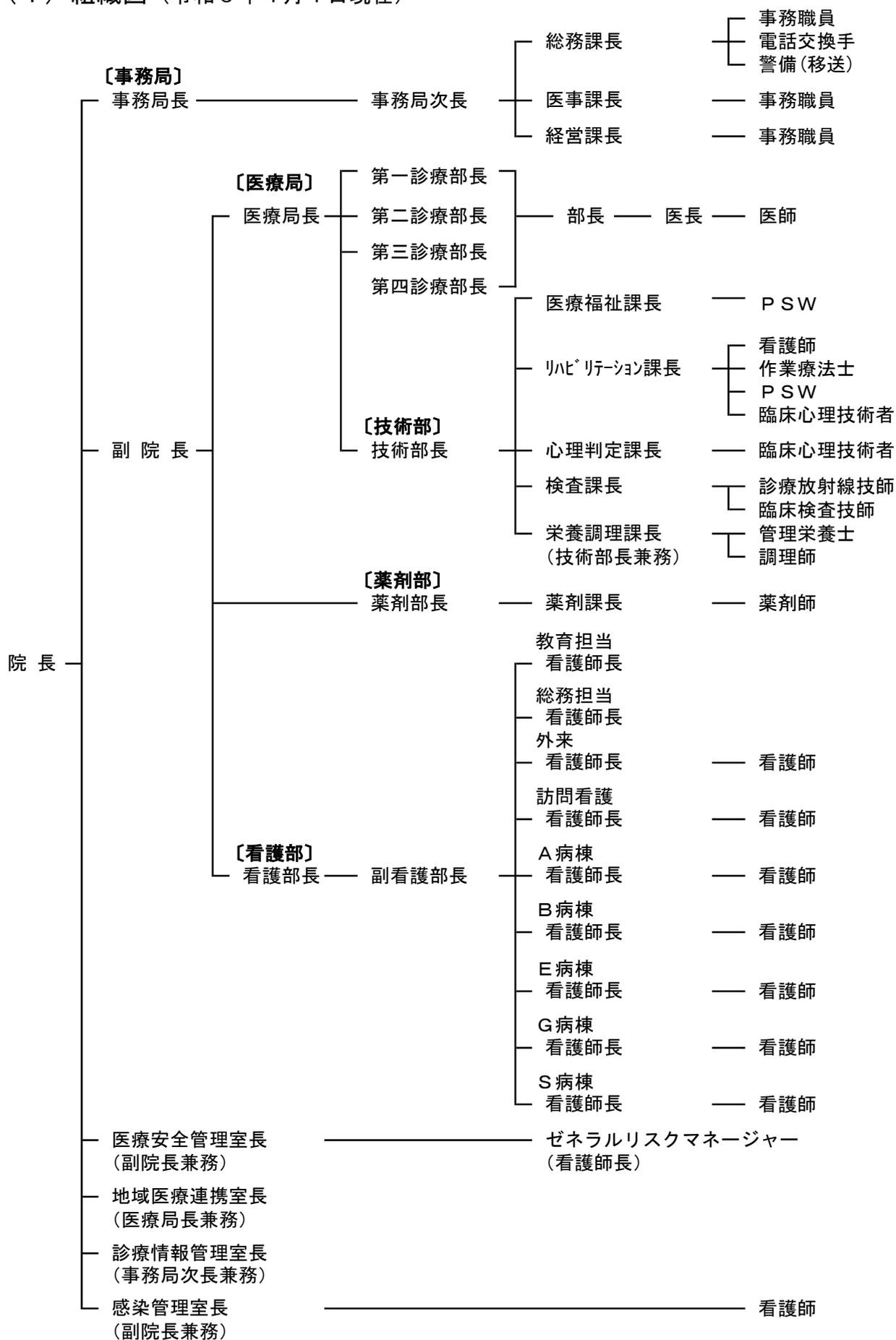
## (9) 医療機器等の整備状況

年 度	施 設 ・ 機 器 等 の 整 備 状 況		
		施設・設備の種類	規 格 等
平成21年度	医療用機器	コンピューテッドラジオグラフィ	コニカミノルタ製 MODEL190
		歯科用レセプト・カルテシステム	シグマソリューションズ製
		散薬監査システム	トーショー製 SW-K
	施設整備	医療観察病床新設建築工事	旧D病棟
		医療観察病床新設電気設備工事	旧D病棟
		医療観察病床新設機械設備工事	旧D病棟
		入退室カード管理システム更新	全館
平成22年度	医療用機器	全自動錠剤散薬分包機	トーショー製 io-1620win IF edition
	その他 機器整備	カートイン冷蔵庫	サンヨー製 SRR-EC2APH
		ガス炊飯器	日本調理機製 ARCX-3GC
	施設整備	E・G病棟改修建築工事	E・G病棟
		E・G病棟改修電気設備工事	E・G病棟
		E・G病棟改修機械設備工事	E・G病棟
平成23年度	医療用機器	パルス波治療器	ソマテック社製 サイマトロン
		天井走行型X線一般撮影装置	東芝製 MRAD-A50S
		AED	フィリップス ハートスタートFR3ProECG
	その他 機器整備	真空冷却機	三浦工業製 CMJ-40QX
		ゲート型金属探知機	ギャレット社製 PD-6500i
	施設整備	医療観察法小規模病棟建築工事	S病棟
		医療観察法小規模病棟電気設備工事	S病棟
		医療観察法小規模病棟機械設備工事	S病棟
		旧B病棟及びB病棟改修建築工事	A・B病棟
		旧B病棟及びB病棟改修電気設備工事	A・B病棟
		旧B病棟及びB病棟改修機械設備工事	A・B病棟
サイリスタ整流器取替工事	ジーエス・ユアサ製TR-SNTR10030-A		
平成24年度	医療用機器	全身麻酔器	泉工医科学工業製 メラMD-751AK
		生体情報モニター	フクダ電子製 DS-7000
	機器整備	卓上型真空包装機	TOSEI製 V380G
	施設整備	体育館耐震補強工事	体育館
		北館中央監視装置取替工事	北館
		西館サイリスタ整流器取替工事	西館
平成25年度	医療用機器	脳波計	日本光電工業(株)製 EEG-1218
		全自動散薬分包機	(株)トーショー製 io-9090compact
	施設整備	本館サイリスタ整流器取替工事	本館

年 度	施 設 ・ 機 器 等 の 整 備 状 況		
	施設・設備の種類	規 格 等	
平成26年度	医療用機器	解析付心電計装置	フクダ電子(株)製 FCP-8800
		一包化錠剤鑑査支援装置	(株)ユヤマ製 TabSight (YS-TPM-01)
		医療情報システム	(株)ナイス 電子カルテシステム
	施設整備	パッケージエアコン更新工事	本館、北館、西館
		外構監視カメラ取り付け工事	パナソニック製ネットワークカメラ
冷温水発生機等更新工事		三菱電機製 CAH-P3000F II	
平成27年度	医療用機器	臨床化学自動分析装置	シーメンス製 ディメンションEXL200
		多項目自動血球分析装置	シスメックス製 XN-550
	施設整備	屋上防水改修工事	本館、北館、西館
平成28年度	医療用機器	ベッドサイドモニタ	日本光電工業(株)製 PVM-2701
		血中アンモニア測定器	アークレイ(株)製 ポケットケムBA PA-4140
	機器整備	食器洗浄機	ホバート・ジャパン FTC2-PAA-3H(sp)
	施設整備	北館ファンコイルユニット更新工事	北館
		西館ファンコイルユニット更新工事	西館
監視カメラ更新工事		北館、西館	
平成29年度	医療用機器	AED	フィリップス製 ハートスタート FR3
		ベッドサイドモニタ	日本光電工業(株)製 PVM-2701
		歯科レセプト・カルテシステム 一式	(株)シグマソリューションズ社製 WiseStaff-9Plus
	施設整備	給水設備改修工事	本館、北館、西館
		電気給湯器更新工事	A・B・E・F・G病棟
		本館ファンコイルユニット更新工事	本館
		ナースコール更新工事	A・B・E・F・G病棟
平成30年度	医療用機器	セントラルモニタ	日本光電工業(株)製 WEP-5204
	機器整備	消毒保管機(蒸気式)40箆	(株)アイホー製 SW-2004
	施設整備	換気設備更新工事	北館、西館
		非常用発電装置蓄電池更新工事	北館
		換気設備更新工事(本館棟)	本館
令和元年度	医療用機器	多本架冷却遠心機	久保田商事(株)製 5911
		尿自動分析装置	栄研化学 US-1200
		シャッター付調剤台	(株)ユヤマ製
	機器整備	消毒保管機(蒸気式)40箆・30箆	(株)アイホー製 SW-2004・SW-1504
		スチームコンベクションオープン	(株)ラショナル製 101
	施設整備	空調和設備修繕工事	北館
		非常用発電装置改修工事	北館
非常用電源装置蓄電池更新工事		北館	

年 度	施 設 ・ 機 器 等 の 整 備 状 況		
	施設・設備の種類		規 格 等
令和2年度	医療用機器	医療情報システム機器等更新	(株)ナイス 電子カルテシステム
		マルチスライスX線CT装置	日立製作所 Suprie Grande FR
		セントラルモニタ・ベッドサイドモニタ	日本光電工業(株)製 BMS-3400・PVM-4761
	機器整備		
	施設整備	空気調和設備修繕工事	北館
令和3年度	医療用機器	遺伝子検査機器	アボット ID NOW
		パルス波治療器	サイマトロン 米国ソマティック社製
		セントラルモニタ・ベッドサイドモニタ	日本光電工業(株)製 BMS-3400・PVM-4761
	機器整備		
	施設整備	保護室等改修工事	西館
空気調和設備修繕工事		西館	
令和4年度	医療用機器	ベッドサイドモニタ	日本光電工業(株)製 PVM-4761
		オンライン資格確認サブシステム一式	(株)ナイス ML-Aサブシステム導入
	機器整備	DPCデータ提出対応改修	(株)ナイス Medical Leader-Account改修
	施設整備	浄化槽改修工事	全館
		医療観察法病棟外部改修工事	S病棟
令和5年度	医療用機器	FPDシステム	コニカミノルタ AeroDRシステム
		歯科用X線撮影装置	ヨシダ TrophyPan Excel/Dent Navi/compuray scan be
		AED	日本光電工業(株) カルジオライフ AED-3151
		薬用冷蔵ショーケース	PHC MPR-S150H-PJ
	機器整備	温冷配膳車	PHC CD1048EP/CD1042EP/CD1124EP
		電解次亜水生成装置	三浦電子 B.GROON CL-S100
	施設整備	非常用電源装置蓄電池	本館及び西館
令和6年度	医療用機器	脳波計	日本光電 EEG-1260
		歯科ユニット	ヨシダ ノバセリオα
		ヘモグロビン測定装置	アダムスA1Cライト
		超音波診断装置	キャノンメディカルシステムズ Aplio Air
		膀胱容量測定器キューブスキャン	エムキューブテクノロ BioCon-900s
		AED	日本光電工業(株) カルジオライフ AED-3151
		薬用冷蔵ショーケース	PHC MPR-S300H-PJ
	機器整備	蒸気式スूपケトル	服部工服(株) SHT-100
		プレート殺菌庫	KT-55H AIH0製
	施設整備	空調用リモートユニット	事務局
		照明器具ほか改修工事	西棟(旧A病棟)

(1) 組織図 (令和6年4月1日現在)



## (2) 部局の業務内容

### 事務局

#### ○総務課

組織、人事、給与、福利厚生、服務、医療事故、施設管理、その他庶務一般に関すること。

#### ○医事課

保険診療、医事相談、収入調定、未収金管理、診療情報管理に関すること。

#### ○経営課

経営分析・改善、予算編成、決算、資金計画・管理に関すること。

### 医療局

外来、入院患者の診療、医療観察法に基づく鑑定入院・指定入院・指定通院患者の受入れ、デイケア、作業療法等のリハビリテーション計画、実施、精神保健相談並びに病理、放射線、脳波、画像検査、心理判定、患者の給食及び栄養指導等に関すること。

### 薬剤部

調剤、注射剤払い出し、医薬品の管理、麻薬・向精神薬の管理、服薬指導、薬歴管理、医薬品情報管理、副作用情報、治験業務、院内防疫に関すること。

### 看護部

外来診療介助、入院患者の看護、診療補助及びリハビリテーション等の業務計画、実施に関すること。

### 医療安全管理室

医療事故の防止・安全対策の整備等医療安全管理体制の強化に関すること。

### 地域医療連携室

地域医療機関、患者家族、関係諸機関との連携、外来初診相談・入院相談専用窓口に関すること。

### 診療情報管理室

診療情報の管理・保護及び適正な利用の推進に関すること。

### 感染対策室

感染対策の推進に関すること。

### (3) 職員配置状況

(令和6年4月1日現在、単位：人)

区 分		正 規 職 員		実務研修生		会計年度任用職員	
		定 数	現 員	定 数	現 員	定 数	現 員
事 務 局		10	10			17	16
内 訳	事務主事	10	10				
	補助員（事務等）					11	10
	補助員（電話交換）					2	2
	旧嘱託員（事務等）						
	旧嘱託員（警備等）					4	4
医 療 局		43	44	10	3	9	9
内 訳	医師	17	17	4	2	1	1
	歯科医師						
	歯科衛生士					1	1
	放射線技師	1	1			1	1
	臨床検査技師	2	2			1	0
	作業療法士（OT）	5	6	2	0	1	0
	心理判定員	4	4	2	1	1	1
	精神保健福祉士	8	8	2	0	1	2
	管理栄養士	2	2			1	2
	調理師	4	4				
	補助員（事務等）					1	1
薬剤部		5	5	2	0	2	3
	薬剤師	5	5	2	0	2	2
	補助員（薬剤助手）						1
看護部		121	128	11	0	13	9
内 訳	看護師	121	128	11	0	12	9
	（うち看護師）	121	128 (1)	11	0	12	8
	（うち准看護師）					0	1
	看護補助者（補助員）					1	0
合 計		179	187 (1)	23	3	41	37

※（ ）内は再任用職員で内数



## ①高度専門医療の提供

### 1) 精神科救急病棟の導入

平成15年度に精神科救急の専門病棟を全国の公立精神科病院に先駆けて公立病院として3番目に導入しました。その後、平成21年度に増床、令和4年度に、さらに一部を増床し、2病棟85床の体制を整えています。当該病棟だけで年間427名（令和6年度）の入院患者を受け入れ、迅速な入院対応と地域への早期退院を実現しています。

### 2) 早期社会復帰への取り組み

患者の早期社会復帰を促進するため、多職種チーム医療等の活用による治療モデルの確立により、在院日数の短縮に努めています。令和6年度患者1人当たりの平均在院日数は、108.2日となっています。

## ②政策医療の展開

### 1) 精神科救急基幹病院機能

こころの健康センターに設置されている精神科救急情報センターと連携し、県内の精神科3次救急の基幹病院機能を担っています。民間病院では対応が難しい精神症状の激しい患者など通報制度により措置入院等となる患者の約7割を当センターが受け入れています。

#### ○警察官等の通報に基づく入院状況

区 分	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
当センター	209件(67.6%)	213件(71.2%)	182件(71.7%)	202件(72.9%)	191件(74.6%)
民間病院	100件(32.4%)	88件(28.8%)	72件(28.3%)	75件(27.1%)	65件(25.4%)
小 計	309件(100.0%)	301件(100.0%)	254件(100.0%)	277件(100.0%)	256件(100.0%)

### 2) 医療観察法に基づく鑑定入院、指定入院、指定通院対象者の受け入れ

群馬県内の精神科における政策医療を担う役割を果たすため、平成17年度に「医療観察法」に基づく指定通院医療機関の指定を受け、令和7年3月末までに41名の指定通院対象者を受け入れました。また、同じく平成17年度に「医療観察法」に基づく鑑定入院医療機関の推薦決定がなされ、令和7年3月末までに70件の鑑定を実施しています。指定入院医療機関については、国からの要請を受け、6床の小規格病棟を平成21年6月に開設した後、平成24年3月には17床（うち保護室1）の新病棟を整備・開棟しました。令和4年4月11日より18床（うち保護室1・生活訓練室1）へ届出を変更し、指定入院対象者は令和7年3月までに84人を受け入れています。

### 3) 思春期精神科医療

児童・思春期から青年期は成人と共通の精神障害に加え、多動障害や情緒障害など特有の精神疾患が出現する時期であり、専門的医療を行う必要があるため、家庭や児童施設では対応が困難な精神症状が顕著な青少年に対し、専門的な医療を実施しています。

#### 4) 治療困難者・重症患者の受け入れ

地域の医療機関等と連携して、民間病院での対応が難しい治療困難者・重症患者を積極的に受け入れ、症状の改善に向けた取り組みを実施しています。

### ③県内医療従事者の育成

県内における精神科研修の中心的役割を担っており、医師や看護師をはじめとする医療従事者の研修センターとしての役割を果たしています。例えば、看護師の資格取得には精神科実習が必須となっていますが、令和6年度には県内外の9校から272名の看護実習生を受け入れています。

## 5 運営の概要

### (1) 院内行事及び視察研修等受入状況

月 日	行 事 名	担当部署等	参加者等	場 所
4月1日	院内辞令交付・発令伝達・受入式	総務課	院長、職員	院内
9月4日	医療観察法第1回外部評価会議	医事課	外部委員、内部委員	院内
10月23日	第1回防災防火訓練	総務課	患者、職員	院内
11月13日	医療観察法指定入院医療機関一般指導監査	医事課	院長他	院内
12月20日	医療観察法地域連絡会議	医事課	区長、民生委員、 児童委員、行政他	院内
2月14日	医療観察法第2回外部評価会議	医事課	外部委員、内部委員	院内
2月20日	第2回防災防火訓練	総務課	患者、職員	院内
3月31日	院内退職者辞令交付式	総務課	院長、職員	院内

(2) 院内委員会等活動状況 (令和6年度)

会議名	所 学 付 議 事 項	構 成 員	主 宰 者	担 当 者	開 催 日 時
推進会議	・病院運営の基本事項の決定 ・経営改善の企画立案・進捗管理・評価	院長、副院長、医療局長、事務局長、看護部長、薬剤部長、検査部長、技術部長、副看護部長、事務局長次長、医療福祉課長、医事課長、経営課長 推進会議の構成員のほか、課長・看護師長以上の役付職員	院長	経営課	毎月第1・第3月 曜
経営戦略会議	・経営改善進行管理 ・病院運営連絡調整	医療局長、担当医師、副看護部長、病棟師長 看護師長、医療福祉課長、医事課長等 医師	院長	経営課	毎月最終水曜日
ベッドコントロール委員会	・精神科救急急性期医療入院料の施設基準確認 ・病床の効率的利用の検討		医療局長	医事課	毎月第2金曜日
医局会議	・医局内の方針決定、連絡調整等		院長	医療局長	毎週月曜
看護師長会議	・看護部内の方針決定、連絡調整等	看護部長、副看護部長、GRM、看護師長	看護部長	看護師長	毎月第2・第4 木曜
看護教育委員会	・看護教育に関する検討、実施、研修	教育担当師長、副看護師長	看護部長	教育担当看護師長	毎月第4月曜
看護研究委員会	・看護研究に関する支援	研究担当看護師長、教育担当師長、副看護師長	看護部長	看護師長	毎月第1水曜
看護記録委員会	・看護記録の書き方 ・適正な看護計画の建て方	看護記録担当看護師長、各病棟1名	看護部長	看護師長	毎月第2月曜
看護接遇委員会	・看護師の接遇	接遇担当看護師長、各病棟1名	看護部長	看護師長	奇数月第1水曜
看護業務委員会	・看護業務の安全・効率的遂行、標準化、質の向上	看護業務担当看護師長、教育担当師長、副看護師長	看護部長	看護師長	第3木曜
医療安全管理委員会	・医療安全管理に関する検討・研究 ・医療事故の分析、再発防止策の検討・実施・見直し ・職員に対する指示、院長等への提言 ・医療安全管理の啓蒙・教育・広報等	院長、副院長、医療局長、事務局長、看護部長、副看護部長、GRM、事務局長次長、技術部長、薬剤部長、総務課長、医事課長、経営課長、医療福祉課長、検査課長、心理判定課長、リハビリテーション課長、各看護師長	副院長 (医療安全管理室長)	GRM	毎月第4水曜
リスクマネジメント委員会	・医療安全に関する情報収集及び調査・分析 ・具体的改善策の検討・推進、職員への広報・啓蒙等	医療局長、GRM、事務局長次長、各リスクマネージャー(医局、医事課、リハビリテーション課、心理判定課、薬剤部、看護部、栄養調理課、検査課、医療福祉課)	GRM	医療安全管理室	毎月第2火曜
院内感染対策委員会	・院内感染の発生状況の把握・報告 ・感染防止対策の検討・実施・研修	院長、副院長、医療局長、医療局部長、事務局長、看護部長、副看護部長、技術部長、薬剤部長、検査課長、検査課職員、医療福祉課長、リハビリテーション課長、心理判定課長、GRM、各看護師長、医事課長、総務課長	副院長	医療安全管理室、 総務課	毎月第4水曜
院内感染制御チーム	・院内感染対策マニュアルの見直し ・院内巡視	院長指名職員	院長指名職員	担当看護師長	月1回
診療関連死亡原因検討委員会	・診療関連死亡事例に関する原因の判定	院長、副院長、医療局長、看護部長、技術部長、薬剤部長、事務局長次長、GRM、死亡患者主治医	副院長	GRM	必要の都度
行動制限最小化委員会	・患者の行動制限の適正化・最小化に関する検討	副院長、医療局長、医局技師、副看護部長、GRM、医療福祉課員、B・G病棟看護師長	副院長	GRM	毎月第2水曜
褥瘡対策委員会	・褥瘡防止対策に関する検討 ・治療効果の推移、改善に関する検討	院長、副院長、医療局長、看護部長、副看護部長、各看護師長、GRM、事務局長、事務局長次長、総務課長、経営課長、医事課長、技術部長、薬剤部長、心理判定課長、リハビリテーション課長、課長、医療福祉課長	医療局部長 (専任医師)	担当看護師長	月1回
褥瘡対策チーム	・褥瘡対策マニュアルの見直し ・褥瘡防止対策に関する検討	専任医師、看護師長、薬剤師、作業療法士、管理栄養士、専任看護士	医療局部長 (専任医師)	担当看護師長	隔数月第1木曜
E C T 管理委員会	・E C Tの実践体制の整備・維持 ・事故、有事の対応 ・データ、情報の管理	E C T管理医、E C T実施医、GRM、総務課長、医事課長、経営課長、F病棟看護師長、病棟看護師、薬剤師職員	医療局部長 (専任医師)	医事課	年4回
看護電子カルテ委員会	・看護職員が電子カルテを安全に正しく使えるための検討	担当看護師長、各病棟1名、外来・訪問1名	看護部長	看護師長	奇数月第4水曜



会議名	所掌付議事項	構成員	主宰者	担当者	開催日時
研修委員会	・院内研修会の実施	医療局長、第二診療部長、事務局長次長、GRM、看護師長(教育担当)、医局、技術部、薬剤部、看護部、事務局長の担当職員	医療局長	医事課	必要の都度
海外学会等派遣審査委員会	・海外学会等派遣審査項目の審査	副院長、医療局長、事務局長、看護部長、技術部長、薬剤部長、事務局長次長、総務課長	副院長	総務課	必要の都度
防災委員会	・院内防災対策の企画立案・普及・研修 ・消防・避難訓練実施計画の検討	課長・看護師長以上の役付職員	事務局長次長 (防火管理者)	総務課	年2回以上
医療ガス安全・管理委員会	・医療ガス機器の安全管理・教育	院長(総括責任者)、医療局長(監督責任者)、薬剤部長(医療ガス品質管理責任者)、GRM(実施責任者)、各看護師長(取扱責任者)、総務課長、総務課員(実施責任者)	院長	総務課	年1回
サービスイノベーション委員会	・患者に対する医療・福祉・その他のサービスの向上	医局、事務局、技術部、薬剤部、看護部の各課(各棟)担当職員、GRM	総務課長	総務課	毎月第3水曜
図書委員会	・図書の購入、管理の検討	院長、副院長、医療局長、事務局長、第一診療部長、第二診療部長、第三診療部長、技術部長、薬剤部長、看護部長、事務局長次長、経営課長	院長	経営課	必要の都度
死亡症例検討委員会	・患者死亡原因の検討	院長、副院長、看護部長、事務局次長、GRM、総務課長、薬剤部、技術部、死亡患者主治医、推進会議の構成員のほか、課長・看護師長以上の役付職員	院長	GRM	必要の都度
年報編集委員会	・年報編集の調整		医事課長	医事課	必要の都度

### (3) 職員研修の状況

#### 令和6年度 主な院内研修実施状況

研修担当	研修内容	実施回数	参加者数
研修委員会	基本研修（新規採用・転入者）	1回	12
医療安全	人間の行動を理解する・患者誤認防止研修	4回＋各部署開催	248
	一次救命処置（BLS）&自動式体外除細動器（AED）	5回＋各部署開催	195
	医療現場にけるクレーム・トラブルの事例と対応方法	1回＋各部署開催	246
感染対策	感染症に強い精神科病棟にするために	4回＋各部署研修	202
	吐物処理シミュレーション	5回＋各部署研修	205
行動制限最小化	精神保健福祉法 医療保護入院等に関わる研修	6回＋各部署開催	187
CVPPP 医療安全対策室	CVPPP（包括的暴力防止プログラム）	4回＋各部署開催	延べ 158
看護部	新人・転入者研修	12回	7
	能力別研修	13回	延べ 55
	役割別研修	9回	延べ 36
	経年別研修	5回	延べ 15
	対象者別研修	2回	延べ 16
	全体研修	5回	延べ 84

#### (4) 医療従事者の育成

質の高い・安全な医療を提供するためには、優秀な医療従事者の育成が不可欠です。このため、当センターでは医療従事者の育成に積極的に取り組んでおり、県内の医師をはじめとした医療従事者の研修センターとして重要な機能を果たしています。

##### ① 臨床研修医受入状況

医師の臨床研修は大学卒業後、幅広い分野における臨床実務を学ぶために行われているなかで、精神科の臨床研修は選択必修科目となっています。

当センターでは、

- ・「医療」、「行政」、「刑事司法」の連携による精神科救急医療の実践
- ・群馬県三次精神科救急ケースの全面的受け入れと一貫した治療
- ・司法精神医学（精神鑑定、医療観察法の指定入院・通院医療機関及び鑑定入院など）の経験
- ・スーパー救急病棟における豊富な症例数

などを通して、幅広い臨床実務の経験、知識・技術・態度の体系化を図ってもらうよう研修プログラムを組んでいます。

病 院 名	受 入 れ 人 数
伊勢崎市民病院	17名
桐生厚生総合病院	7名
済生会前橋病院	4名
前橋赤十字病院	11名
合 計	39名

##### ② 実習生受入状況

医師の養成については、群馬大学医学部の臨床実習（選択実習）を受け入れています。看護師については、精神科看護実習は必修科目となっているため、県内看護学校をはじめとして、多数の実習生を受け入れています。

また、コメディカルについても複数校から実習生を受け入れ、多職種学生の人材育成センターとしての役割を担っています。

区 分	学 校 名	受 入 れ 人 数
医 師	群馬大学	7名
看 護 師	群馬大学	10名
	県立県民健康科学大学	63名
	伊勢崎敬愛看護学院	30名
	桐生大学	51名
	東群馬看護専門学校	24名
	高崎健康福祉大学	48名
	高崎市医師会看護専門学校	29名
	群馬医療福祉大学	15名
	上尾中央看護専門学校	2名
P S W	東京福祉大学	2名
	群馬医療福祉大学	1名
	高崎健康福祉大学	1名
	長野大学	1名
作 業 療 法 士	前橋医療福祉専門学校	1名
	群馬パース大学	2名
	群馬医療福祉大学	1名
公 認 心 理 師	東京福祉大学	1名
	東京福祉大学大学院	2名
合 計		291名